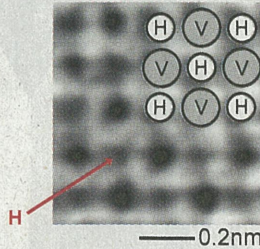


世界初、水素原子の観察に成功

東大教授らのチーム
最先端電子顕微鏡で

元素の中で最も小さい水素原子を観察すること、東京大学の幾原雄一教授らの研究チームが世界で初めて成功しました。

水素原子の大きさは1000万分の1ミリ程度しかありません。これを最先端の電子顕微鏡を使うことで観察



水素(H)とバナジウム(V)の化合物を撮影した写真。0.2nm(ナノメートル)は1000万分の2ミリ=東京大学提供

できました。チームの柴田直哉助教は「水素が見えたということは、今後どんな原子も観察できるということ。水素を使う次世代の燃料電池に使う素材の開発などに役立つのではないかと話しています。

記事の一部は朝日新聞の提供です

朝日小学生新聞

2010年(平成22年)11月7日 日曜日